

令和6年 4月 1日から
令和7年 3月31日まで

第51期（令和6年度）

事業報告書
財産目録、貸借対照表
損益計算書、剰余金処分案

千葉県自動車整備商工組合

令和6年度 事業報告

令和6年 4月 1日から

令和7年 3月31日まで

千葉県自動車整備商工組合

I. 事業活動の概況に関する事項

I-1. 概 要

令和6年度の日本経済は、日経平均株価がバブル期を超える水準に達した他、日銀が17年ぶりに利上げに踏み切る等、デフレからの脱却とインフレ経済への移行が進み、景気回復の兆しが見られました。しかし、国際的な原材料費の上昇や物流コストの増加により、スーパーやコンビニでは日常的な商品の価格が軒並み上昇しており、家計の負担感は一層強まりました。物価上昇に賃金の伸びが追いつかない現実もあり、消費の抑制が経済全体の成長を鈍化させる懸念も指摘されています。今後は、政府の支援策や企業の賃上げの動き等、家計を下支えする施策が強く望まれるところです。

このような中、同年度の新車販売台数は、登録車が前年より1.6%増の294万8千台、軽自動車0.1%増の162万7千台、合わせて前年比1.0%増の457万5千台と前年度より4万7千台の増加となりました。コロナ前の500万台の水準には及ばないものの3年連続で前年実績を上回る結果となりました。

一方、一般社団法人日本自動車整備振興会連合会の「令和6年度自動車特定整備業実態調査」結果によると、総整備売上高は6兆2,561億円となり、前年比5.9%増と3年連続で増加となりました。作業内容別では、「車検整備」が2.6%増、「定期点検整備」が3.1%増、「事故整備」が9.6%増、「その他整備」が8.8%増と何れも増加となりました。事業場数については、92,384事業場で、前年比0.6%増と3年連続となる増加、整備士数についても333,047人で前年比0.5%と4年ぶりに増加となりました。また、自動車保有台数は微増を続けているものの、今後も大きな増加を望めるものではなく、整備業界を取り巻く環境は、依然として厳しいものがあります。

このような時代環境にあって、自動車整備商工組合は、事業者団体としての機能を十分に発揮する為、各種事業の効果的な実施に努めました。

先ず、総務委員会担当事項では、組織運営対策として、事務局における事務処理の効率化を図る為、ITツールの活用やデジタル化について検討し、稟議書や経費申請等の各種申請処理や文書管理、スケジュール管理等に有効なグループウェアを導入しました。また、理事会や委員会等、諸会議については、出席者の負担軽減と効果的な運営の為、メールを活用した通知や資料のWeb上へのアップロード、Web委員会の開催等、開催方法を一部変更し運用を開始しました。

さらに、事務局組織の人事制度については、「高年齢者雇用安定法」や「パートタイム・有期雇用労働法」等、関係法令に対応し、より効率的に運営できる制度や体制について、事務局職員に社会保険労務士2名を加えたプロジェクトにより策定した「新人事制度」を実施する等、事務局機能の充実・向上と効率的な運営の推進に努めました。

続いて、事業委員会担当事項では、事業経営基盤強化対策として、組合員のOBD検査等、業務の電子化への対応を図る為、OBD検査環境の構築をサポートする企業を斡旋すると共に、環境の構築に役立つ各種情報を発信しました。また、検査用スキャンツールの普及促進に注力しながら、機械工具や用品類、油脂類の拡販に努める等、共同経済事業を継続して推進しました。さらに、支所店頭商品については、購入時に「組合員カード」をご提示いただくことで、組合員に価格的なメリットを提供できるようシステムを変更し、販売を開始しました。

事業経営支援対策としては、組合員の経営の安定化と活性化を図る為、自社代車のレンタカー化や補助金の有効活用に向けたセミナーの開催や、「千葉県よろず支援拠点」が実施する「ピンポイントセミナー」を紹介する等、組合員の収益性の向上や労務低減に貢献できるよう有効な情報の提供に努めました。

さらに、環境安全対策としては、使用済自動車の適正処理を促進する他、工場内の猛暑対策に効果の期待できる屋根の遮熱塗装や冷房機器を紹介することで、環境安全対策と安全、災害防止対策を推進しました。

最後に、教育委員会担当事項として、大学校の運営については、引き続き自動車整備業界に有用な人材育成の為、必要な専門教育に努めました。また、自動車整備士技能検定制度の改定に伴い、授業科目や授業時間を変更し、将来に対応できるカリキュラムを策定しました。

学生募集については、留学生の募集強化の為、日本語学校と連携を密にする等、より良好な関係を構築し、また、オンライン説明会を充実することで、広報、学生募集活動の充実、強化を図りました。

さらに、組合員事業場で働く外国人や整備士資格取得前の従業員も対象に「自動車整備技術交流会」を開催し、また、「整備主任者等資格取得講習」を継続することで、整備技術の基礎力の向上や人材交流に協力しました。

以上の諸事業につきましては、関係官庁、関係団体のご指導をいただいております。ここに令和6年度事業の報告と財務諸表につき、後記の通りご報告申し上げますと共に、組合員各位のご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

I－2. 事業の実施状況

総務委員会担当事業

1. 組織運営対策

(1) 通常総代会の開催（1回）

令和6. 5.29（第1回）

1. 令和5年度事業報告並びに収支決算（財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案）承認について
2. 令和6年度事業計画案並びに収支予算案について
3. 役員報酬について
4. 金融機関からの借入金残高の最高限度額決定について
5. 役員（監事）の補欠選出について
6. 任期満了に伴う総代の改選について

(2) 理事会の開催（3回）

令和6. 5.10（第1回）

1. 令和5年度事業報告並びに収支決算（財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案）承認について
2. 役員（監事）の補欠選出について
3. 第50回通常総代会に提出する議案の審議について
4. 第50回通常総代会の会期日、場所決定について

令和6.11.13（第2回）

1. 令和6年度上期事業報告並びに収支決算について

令和7. 3.27（第3回）

1. 令和7年度事業計画案並びに収支予算案について

(3) 監事会の開催（4回）

令和6. 4.26（第1回）

1. 令和5年度期末決算について

令和6. 9.30（第2回）

1. 令和6年度9月末印紙類監査について

令和6.10.29（第3回）

1. 令和6年度9月末現在（上期）決算について

令和7. 3.31（第4回）

1. 令和6年度3月末印紙類監査について

(4) 正副会長・理事長会議の開催（3回）

令和6. 4. 19（第1回）

- ①令和5年度事業報告並びに収支決算報告について
- ②第50回通常総代会の開催について

令和6. 10. 22（第2回）

- ①令和6年度上期事業報告並びに収支決算報告について
- ②令和7年陸運関係功労者等の推薦について

令和7. 3. 4（第3回）

- ①令和7年度事業計画案並びに収支予算案について
- ②商工組合創立60周年記念事業実施案について

(5) 正副会長・理事長・委員長会議の開催（3回）

令和6. 4. 19（第1回）

- ①令和5年度事業報告並びに収支決算報告について

令和6. 10. 22（第2回）

- ①令和6年度上期事業報告並びに収支決算報告について

令和7. 3. 4（第3回）

- ①令和7年度事業計画案並びに収支予算案に

(6) 各種委員会の開催

①総務委員会（3回）

R6. 4. 23（第1回）

- 1. 令和5年度事業報告並びに収支決算案について

R6. 7. 24（第2回）

- 1. 役員・委員等研修会の開催について
- 2. 会議の運営方法について

R7. 3. 18（第3回）

- 1. 令和7年度事業計画案並びに収支予算案について

②事業委員会（2回）

R6. 4. 24（第1回）

- 1. 令和5年度事業報告並びに収支決算案について

R7. 3. 19（第2回）

- 1. 令和7年度事業計画案並びに収支予算案について
- 2. 予備検査料金の改定について

③教育委員会（2回）

R6. 4. 25（第1回）

- 1. 令和5年度事業報告並びに収支決算案について

R7. 3. 21（第2回）

- 1. 令和7年度事業計画案並びに収支予算案について
- 2. 第26回千葉県自動車整備技能競技大会について

(7) 千葉県青年部協議会正副会長会議（1回）

令和7. 1. 20（第1回）

- 1. 今後の「ブロック、支部（地区）」の青年部組織について

(8) ブロック会の開催

- ①千葉ブロック会（5回）
- ②北総ブロック会（4回）
- ③習志野ブロック会（3回）
- ④野田ブロック会（5回）
- ⑤袖ヶ浦ブロック会（2回）
- ⑥ディーラーブロック会（8回）

(9) 整備事業に適したIT化、デジタル化の推進

ITを活用した会議の運営方法について、振興会、商工組合の両総務委員会合同で検討し、令和7年3月開催の総務・事業・教育の常設委員会及び理事会から運用を開始した。

(10) 役員・委員等研修会の開催

役員、委員、地区長等を対象に研修会を開催し、団体リーダーとしての資質向上を図った。

(11) 退任された役員・委員への感謝状等の贈呈

任期中で退任された役員等に対して感謝状及び記念品を贈呈した。

(12) 地区・ブロック活動への協力

各種会議、研修会等に参加し、地区・ブロック活動の円滑化に協力した。

(13) 事務局職員の資質・能力の向上

事務局職員に必要な各種研修会、講習会等に参加させ事務局機能の充実強化を図った。

- ①新人職員研修会
- ②購販管理者研修会
- ③CO・HC測定器校正実務者資格取得のための講習会
- ④共済制度担当者研修会
- ⑤組合運営実務（組合士養成）講習会
- ⑥経理研修会
- ⑦ショップ・マネージメント・セミナーA、Bクラス研修会
- ⑧購販担当者研修会
- ⑨平理事・事務局長及び総務部長研修会
- ⑩認定経営革新等支援機関に係る研修会
- ⑪総務担当者研修会

(14) 事務局機能の充実・向上と効率的な運営の推進

- ①法令の改正等に対応した新人事制度の実施
- ②事務処理等のIT化の検討

(15) 自動車法制・税制改正についての情報収集及び対応

道路運送車両法等、自動車関係法令改正の動向や国土交通省、経済産業省等各省庁が発表した令和7年度税制改正要望について、さらには、年末に政府与党が発表した税制改正大綱等、情報の収集に努めた。

- (16) 袖ヶ浦軽自動車センターの建物老朽化への対応
関係団体等との具体的な協議の開始が遅れていることから、令和7年度の事業計画実施事項（継続）とした。
- (17) 表彰業務の実施（受賞者氏名は順不同・敬称略）
①陸運関係功労者千葉運輸支局長表彰
②陸運関係功労者関東運輸局長表彰
③陸運関係功労者国土交通大臣表彰
- (18) 自動車業界関連団体、関係業界との連携・協調
業界の共通諸問題への対応の為、関係団体、業界と緊密な連携、協調を図った。
①三団体長会（1回）
②四団体正副長会（2回）
③自動車関連団体で構成する千葉県自動車関係機関連絡協議会に参加し、情報交換に努めた。
④自動車関連団体で構成する陸運懇話会に参加し、情報交換に努めた。
⑤県外業界団体、関係業界との連携協調に努めた。
⑥整友会への支援
⑦千葉日報社新春賀詞交歓会（千葉県民の集い）
⑧千葉県中小企業団体中央会新春交流会
⑨千葉商工中金会新年賀詞交歓会

2. 情報化推進対策

- (1) 自動車整備関係諸情報の収集及び提供
整備市場の現状と動向を継続的に調査し、調査結果を適宜公表・提供することにより組合員事業場の経営の資とした。
- (2) 中小企業関係法令の情報収集及び提供
企業を取り巻く経済環境、雇用関係の変化に伴う関係法令の改正等について広報誌「轟」に適宜掲載し、組合員の啓発を図った。（轟毎月1回発行） 計12回
- (3) ホームページによる情報発信と活用促進
①組合員の皆さんに役立つ各種情報等をホームページに掲載し、情報の提供に努めた。
②商工組合の事業報告書、事業計画書の電子ブック版を作成し、ホームページ上に公開した。
- (4) 広報誌「轟」（e-book版含む）による情報発信
振興会の実施する広報誌「轟」の発行に協力し、整備事業に必要な各種情報の迅速な伝達に努めた。
- (5) LINE、Facebookを活用した迅速な情報提供
振興会のSNS（LINE・Facebook）を利用し、整備事業に必要な各種情報のより迅速な伝達に努めた。

- (6) 各種セミナーの開催
 - (a) 整備工場が活用している助成金セミナー
 - (b) 自動車整備分野の特定技能外国人採用セミナー

- (7) 有利な金融情報の収集及び提供

千葉県が中小企業者向けに実施する融資制度等を広報誌「轟」に掲載し案内した。

3. 福利厚生対策

- (1) 組合員に対する慶弔、見舞い等の実施

組合員慶弔規程により、組合員に対する慶弔、見舞い等を実施した。

- (2) 千葉県自動車販売整備健康保険組合への協力

- ①健康保険組合が行っている福利厚生事業に協力した。
- ②健康保険組合の互選理事を商工組合から派遣した。

事業委員会担当事業

1. 事業経営基盤強化対策

組合員の経営効率の向上と当組合の経済事業の充実強化並びに組合員の労務、福祉対策の向上及び雇用環境の改善の為、次の事業を実施した。

- (1) 共同経済事業の充実・強化

- ①整備・検査用機器類、油脂類、整備用品等共同購販事業

- (a) 自動車用消耗部品の利用促進
- (b) エアコンガス、油脂類のキャンペーンを実施
- (c) 特定整備制度対応機器の取り扱い
- (d) OBD検査で使用する機器の普及促進

- ②中古・リサイクル部品の利用促進

環境にやさしい自動車整備への取り組みとして中古、リビルト部品の利用促進を図った。

- ③自動車整備事業に係わる様式、伝票、図書類の販売事業

組合員事業所の経営管理と業務の改善並びに合理化を図る為に実施した。

- ④共同検査施設利用提供事業

組合員の車検時における検査合格率の向上とコスト低減を図る為実施した。

- ⑤保険代理事業

自動車損害賠償責任保険の加入手続きを実施した。

- ⑥組合指定事務代行者の利用促進

- (a) 登録の代行並びに千葉県以外の事務代行を実施し組合員の利便を図った。
- (b) 自動車リサイクル法に関する自治体への登録・更新・変更手続きの事務代行を実施した。

- ⑦自動車重量税印紙、登録印紙、収入印紙、郵便切手、郵便ハガキ類の売り捌き事業

組合員の利便性向上の為に実施した。

- ⑧自動車税証紙、審査証紙の売り捌き事業

組合員の利便性向上の為に実施した。

⑨ローン・クレジット事業

- (a) 自動車の整備並びに販売等における組合員の資金運用の効率向上と顧客開拓の為に
- (b) 低料率クレジット決済端末機の導入促進に努めた。

⑩組合メリットの向上

組合員カードを利用した店頭商品の販売

店頭商品ご購入者に組合員カードを提示していただいた場合に、員外よりも安価な組合員価格でご購入いただけるシステムを導入した。

⑪Webを活用した取扱商品の紹介

車検予約システムにバナーを設置し、自動車整備業向け機械工具メーカーのホームページによる新商品、新技術の情報発信を行った

(2) 共済事業の充実・促進

組合員の労務福祉対策の向上及び雇用環境の改善を図る為、次の事業を実施した。

①日整連自動車整備業賠償共済保険制度（受託車保険）の加入促進

- (a) 整備受託車の補償並びに組合員の経営基盤の安定を確保する為、加入促進に努めた。
- (b) 販売用自動車保険（オプション契約）の加入促進に努めた。

②日整連オアシス生命共済制度の加入促進

③-1日整連ミニ医療保障制度の加入促進

③-2日整連終身医療保障制度の加入促進

④特定退職金共済制度の加入促進

⑤てんけん安心見舞金制度の加入促進

定期点検整備促進の為、てんけん安心見舞金制度の加入促進を図った。

⑥キープ the モータース保険の加入促進

2. 事業経営支援対策

組合員事業の経営の安定化と活性化を図る為、次の事業を実施した。

(1) ETCセットアップ事業の推進

- ①四輪車、二輪車用ETCセットアップ登録店の加入促進
- ②ETC2.0セットアップ登録店の加入促進
- ③ETC次期セットアップシステム到着前の事前説明会を実施した。

(2) レンタカーによる代車サービスシステムの導入促進

組合員に対してレンタカーによる代車サービスシステムの導入促進を図った。

(3) スキャンツールの普及促進

組合員に対してスキャンツール導入補助金の案内を行った。

(4) 各種セミナーの開催

- (a) 認定支援機関Blue Finbackによる補助金活用セミナー
- (b) G-Scanを活用した実務講習
- (c) 千葉運輸支局専門官によるOBD検査開始後の対策セミナー
- (d) 三菱オートリース㈱がサポート！代車レンタカーのご提案
- (e) 整備業界のデジタル（DX）化に向けた動向と対策について

(f) ヘッドライト検査持込対策勉強会

(5) 整備事業の経営に関する相談・指導

- ①新規認証の取得及び指定工場の取得に対して相談に応じた。
- ②特定整備制度に関する相談に応じた。
- ③各種補助事業に関する情報提供及び相談に応じた。

(6) 補助金有効活用に向けたコンサルタントの紹介

(公財) 千葉県産業振興センターを始めとする複数のコンサルタントと提携し、組合員に紹介した。また、補助金の有効活用に関するセミナーを開催すると共に千葉県よろず支援拠点による無料相談等を轟に掲載し案内した。

3. 環境、安全対策

事業場の環境保全及び安全、災害防止の為、次の事業を実施した。

(1) 環境保全対策の推進

- ①使用済自動車の適正処理の促進
- ②産業廃棄物の適正処理の斡旋及び調査
- ③廃バッテリーの適正処理の促進
- ④整備用公害防止設備機器等の普及促進

(2) 安全、災害防止対策の推進

- ①作業場の安全、環境美化の推進
- ②整備用機器の安全使用についての指導・推進

4. 業界関連事業への協力及び行政協力

一般社団法人千葉県自動車整備振興会の行う事業並びに関係団体・関係行政が行う関連事業に協力した。

(1) 点検・整備実施率向上キャンペーン

点検・整備入庫促進向上キャンペーン「車検・点検ラッキーフェア」のポスターを支所窓口に掲示しPRすると共に、抽選券の配付、回収に協力した。

(2) 継続検査ワンストップサービス（OSS）

- ①電子保適証サービス及び代理申請サービスの申し込み受付に協力した。
- ②OSSの運用に伴う整備システムについての問い合わせに対応した。
- ③整備業界のデジタル（DX）化に向けた動向と対策についてのセミナーの中で、継続検査ワンストップサービスの業務内容について説明し利用を促進した。

(3) 定期点検済ステッカーの利用促進

(4) 自動車検査の予約受付及び確認業務

(5) 自動車税納付状況確認業務

組合員の利便を図る為、千葉県自動車税事務所の納税確認業務に協力した。

(6) 「こども110番の店」の普及促進及び周知

新規組合員へのマニュアル、ステッカー、のぼり旗の配付に協力した。

(7) OBD検査への支援

OBD検査登録・設定の相談、サポートや環境構築を依頼できる事業者を紹介し、組合員のOBD検査への登録促進に協力した。

5. その他

(1) 広告収益事業の推進

広報紙「轟」と車検予約システムに設置したバナーへの広告募集を行った。

教育委員会担当事業

1. 専門学校千葉県自動車大学校の運営

自動車整備技術の応用能力向上と人格の形成に努め、自動車業界に有用な実践力に富む人材を育成する為の専門教育を行うと共に、学校運営に必要な事業を行った。

(1) 教育計画の実施

《学生数》

各科・学年		令和6年4月	令和7年3月	備 考
一級自動車研究科	4年	18名	17名	休学1
	3年	23名	22名	休学1
	2年	17名	16名	退学1
	1年	6名	6名	
二級自動車整備科	2年	18名	16名	退学2
	1年	35名	31名	退学4
合 計		117名	108名	

①学科、実習授業

一級自動車研究科24期生（1年生）、23期生（2年生）、22期生（3年生）、21期生（4年生）、二級自動車整備科55期生（1年生）、54期生（2年生）に対して計画通り授業を実施した。

一級自動車研究科1年生 二級自動車整備科1年生			一級自動車研究科2年生 二級自動車整備科2年生		
区分	科 目 名	時間数	区分	科 目 名	時間数
学 科	自動車工学	30	学 科	自動車力学	30
	自動車力学	30		電子工学	50
	ガソリン・エンジン構造	50		ガソリン・エンジン構造	50
	シャシ構造	50		シャシ構造	50
	ジーゼル・エンジン構造	30		ジーゼル・エンジン構造	30
	電装品構造	50		ハイブリッド車整備法	20
	ハイブリッド車構造	10		エンジン故障原因探求	30
	自動車整備法	32		シャシ故障原因探求	30
	総合整備法	80		自動車検査	30
	エンジン診断法	30		経営学	10
	自動車シャシ診断法	30		C S	10
	整備作業機器	40			
	自動車関係法規	30			
	一般教養	10			
	ビジネスマナー	10			
学 科 小 計		512	学 科 小 計		340
区分	科 目 名	時間数	区分	科 目 名	時間数

実 習	工作実習	5 2	実 習	ガソリン・エンジン実習	1 2 0
	測定実習	5 2		シャシ実習	1 2 0
	機械修正実習	5 2		ジーゼル・エンジン実習	1 0 0
	ガソリン・エンジン実習	1 3 6		電装品実習	1 0 0
	シャシ実習	1 3 6		各種装置実習	6 4
	ジーゼル・エンジン実習	1 2 4		点検実習	1 9 2
	電装品実習	1 2 4		自動車検査実習	6 4
	点検実習	8 0			
実 習 小 計		7 5 6	実 習 小 計		7 6 0
1 年生 学科・実習 合 計		1, 2 6 8	2 年生 学科・実習 合 計		1, 1 0 0

一級自動車研究科 3 年生			一級自動車研究科 4 年生		
区 分	科 目 名	時間数	区 分	科 目 名	時間数
学 科	自動車工学Ⅰ	4 0	学 科	教養Ⅱ	2 0
	自動車工学Ⅱ	3 0		TQM	2 0
	電子工学	3 0		(トータルクオリティー マネージメント)	
	自動車力学	2 0			
	自動車整備法Ⅰ	4 0			
	自動車整備法Ⅱ	4 0			
	高度整備技術Ⅰ	6 0			
	高度整備技術Ⅱ	6 0			
	総合診断	3 0			
	環境と安全	2 0			
	EV・HV整備法	1 0			
	検査機器	2 0			
	自動車検査	1 0			
	自動車関係法規	2 0			
	教養Ⅰ	1 0			
	指導理論	2 0			
学 科 小 計		4 6 0	学 科 小 計		4 0

区分	科目名	時間数	区分	科目名	時間数
実 習	工作実習	40	実 習	インターンシップⅠ	144
	測定実習	20		インターンシップⅡ	104
	エンジン実習	40		点検・診断実習Ⅰ	100
	シャシ実習	40		点検・診断実習Ⅱ	120
	エンジン電子制御実習	100		点検・診断実習Ⅲ	120
	シャシ電子制御実習	100		フロント業務実習	100
	性能試験実習	60		教育実習	100
	各種実習Ⅰ	60		EV・HV実習	100
	点検実習Ⅰ	100		各種実習Ⅱ	120
	点検実習Ⅱ	100		総合診断実習	120
	点検実習Ⅲ	100			
	検査実習	40			
実 習 小 計		800	実 習 小 計		1,128
3年生 学科・実習 合計		1,260	4年生 学科・実習 合計		1,168

②課外授業

課外として次の行事を実施した。

(研：一級自動車研究科・整：二級自動車整備

科)

実施日	行 事	学 年	場 所
令和6年 4月 5日	入 学 式	整・研1年	本 校
4月 8日	始 業 式	整・研2年、 研3年4年	本 校
4月15日	避 難 訓 練	整・研1年2年、 研3年	本 校
5月16日	献血・健康診断	全科合同	本 校
5月21日 ～23日	研 修 旅 行	整・研2年	愛知県・大阪府・三重県
5月21日	7つの習慣セルフコーチング講習	整・研1年	本 校
5月24日	人と車のテクノロジー展	研3・4年	パシフィコ横浜
6月19日	違法改造防止講習	整・研1年	本 校
7月31日	交通安全教室	全科合同	本 校
10月18日	ジャパンモビリティショー	全科合同	東京ビッグサイト
10月25日	自動車リサイクル工場	研3年	啓愛社
10月25日	中古車オークション会場見学	研3年	JU千葉

実 施 日	行 事	学 年	場 所
1 1 月 1 日	検査ライン見学	整・研2年	千葉運輸支局 軽検査協会
1 1 月 2 2 日 ～ 2 4 日	研修旅行	研3・4年	愛知県・三重県
1 2 月 4 日	献血	全科合同	本 校
令和7年 1月10日	オートサロン	全科合同 (希望者)	幕張メッセ
1 月 2 0 日 ～ 2 4 日	企業説明会	整・研1年、 研3年	本 校

③資格取得の為の特別授業

下記の資格取得の為、特別授業（課外含む）を実施、または講習を受講し試験を受験した。

（研：一級自動車研究科・整：二級自動車整備

科）

試 験 日	項 目	学 年	場 所	合格率	備 考
令和6年 4月25日	自由研削砥石取替え等の 業務に関わる特別教育	整・研1年	本 校	97%	講習2日 実施
5 月 2 日	ガス溶接技能講習	整・研1年	本 校	80%	講習3日 実施
5 月 7 日	アーク溶接業務特別教育	整・研1年	本 校	100%	講習3日 実施
5 月 2 0 日	タイヤ空気充てん特別教育	整・研1年	本 校	97%	講習7日 実施
6 月 1 6 日	中古自動車査定士技能検定	研4年	千葉市 教育会館	100%	講習3日 実施
8 月 1 日	損害保険募集人一般試験	整・研2年	損保ジャパン 指定会場	65%	講習2日 実施
8 月 5 日	危険物取扱者（乙4）試験	整・研1年、 研3年 (希望者)	本 校	11%	
9 月 1 4 日	ソーシャル検定試験（中級）	整・研1年	本 校	56%	
9 月 2 9 日	職業訓練指導員免許試験	研3年	千葉県 教育会館	68%	
1 1 月 7 日 ～ 8 日	巻き上げ機運転特別講習	整・研2年	本 校	96%	講習2日 実施
1 1 月 2 1 日 ～ 2 2 日	電気自動車等の整備の 業務に係る特別教育	整・研2年	本 校	100%	講習2日 実施

④生活指導

生活指導の為、下記の訓練・指導を行った。

（a）規律動作訓練の実施

- (b) 防災避難訓練の実施
- (c) 安全衛生健康管理の指導
- (d) 月間目標の徹底による学習意欲の向上
- (e) 遅刻・欠席者に対して電話・面接等の実施
- (f) 問題のある学生に対する保護者面談の実施
- (g) 社会人としての心構え等の指導

⑤学生クラブ活動

各クラブ活動へ助成、協力を行った。

- (a) 軟式野球部への助成
- (b) 自動車部への助成
 - (ア) カート走行会を行った。(新幕張ハーバーサーキット：2回)
 - (イ) K4-GP FUJI 10H耐久レースにメカニックとして参加した。
 - (ウ) eスポーツ用レーシングシミュレータを改良した。
- (c) サッカー部への助成
 - 練習を行った。(習志野芝園フットサル場7回)

⑥交通安全教育

交通安全教育の為、下記の指導を行った。

- (a) 二輪・四輪自動車通学者の車両チェックと安全指導の実施
- (b) 交通安全運転教室の実施
- (c) 夏休み中の交通安全に対する家庭への連絡
- (d) 自転車通学者への安全指導の実施(ステッカーの貼り付け義務)

⑦登録試験対策

- (a) 全員合格のための特別教育を実施した。
- (b) 卒業生(研究科・整備科)は、令和6年度第2回自動車整備技能登録試験を受験した。
受験日：令和7年 3月23日

各 科	学 年	種 目	受験者数	合格者数	合 格 率	資格取得率
一級自動車 研 究 科	4年	1級小型自動車 (筆記)	17名	17名	100%	※1
	2年	2級ガソリン自動車	16名	16名	100%	100%
		2級ジーゼル自動車	16名	16名	100%	
二級自動車 整 備 科	2年	2級ガソリン自動車	16名	16名	100%	100%
		2級ジーゼル自動車	16名	16名	100%	

※1：口述試験合格後資格取得

(2) 学校運営に伴う諸行事の実施

①入学式

第55回入学式を実施した。

実施日 令和6年 4月 5日（金）

場 所 千葉県自動車会館 4階ホール

入学者数 41名

（一級自動車研究科：6名 二級自動車整備科：35名）

②卒業式

令和6年度卒業証書授与式を実施した。

実施日 令和7年 3月 7日（金）

場 所 アパホテル&リゾート＜東京ベイ幕張＞

卒業者数 33名

（一級自動車研究科：17名 二級自動車整備科：16名）

二級自動車整備士課程修了者数 16名

（一級自動車研究科2年生）

③入学試験

下記の日程で入学試験を実施した。

指定校 令和6年10月15日

1次 令和6年11月 2日

2次 令和6年12月 6日

3次 令和7年 1月17日

4次 令和7年 2月14日

5次 令和7年 3月 8日

（3）広報、学生募集活動の充実、強化

学生募集及び広報活動として次のことを実施した。

①県内の高等学校を訪問しPRの実施

（a）千葉県下の高等学校を訪問して、本校のPR及び学生募集を行った。

（b）過去に入学実績のある高等学校を訪問して、指定校推薦制度について説明し、協力をお願いした。

（c）千葉県下の高等学校を訪問して、AO入試の実施期間を延長したことを説明し、受験希望者へ周知の協力をお願いした。

②高等学校の校内説明会、模擬授業への参加

（a）高等学校で各分野別に行う校内説明会に参加した。

（b）高等学校内で小型エンジンの分解・組立を体験する模擬授業を行った。

③会場説明会、情報交換会、連絡協議会等への参加

（a）広告媒体業者が準備した会場で行う会場説明会に参加した。

（b）千葉県高等学校教育研究会進路指導部会主催の「専門学校進学のための連絡協議会」に参加して情報収集に努めた。

④小中学校主催の職業教育学習会への参加

（a）市原市内の市立中学校にて仕事に関する講演を行った。

⑤体験入学、学校見学会、保護者対象説明会等の実施

- (a) 高校生、既卒者に対し本校で行っている授業を体験する体験入学を行った。
- (b) 高校生、既卒者に対し授業中の見学を行う学校見学会を行った。
- (c) 入学希望者の保護者に対して、保護者対象説明会を行った。
- (d) 高校生、既卒者に対し学校説明会を行った。
- (e) 高校生、既卒者に対しオンラインにて行う学校説明会を行った。
- ⑥入学希望者に対する個別相談の実施
次年度入学予定学生を対象に学費支払い等の相談を行った。
- ⑦中学校、高等学校の職場体験受入等の実施
中学校、高等学校が学習指導の一環として行う職場体験学習の受け入れを行った。
- ⑧広告媒体の広報誌等へPR記事の掲載
一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会、株式会社さんぽう等の広告媒体に募集広告を掲載した。
- ⑨ホームページを活用したPRの実施
 - (a) 本校の学校案内用ホームページについて、内容を充実して閲覧者に情報提供するなど学校のPRを行った。
インターネットホームページ <https://cats.ac.jp>
 - (b) インターネットのLINE及びInstagramの公式アカウントを活用して学校情報の提供を行った。
- ⑩高校生、既卒者を対象としたダイレクトメールの実施
校内進学説明会に参加した高校生及び本校に資料請求をした高校生、既卒者にダイレクトメールを郵送した。
- ⑪CATSカーフェスティバルの実施
日 時 令和6年 8月 4日(日) 10:00~15:00
場 所 千葉県自動車整備商工組合構内(千葉県自動車大学校)
内 容 幼児、小学生を主な対象として、車に関する体験型イベントや車両展示を行い、総勢1,500名を超えるイベントとなった。
- ⑫留学生の受け入れの強化
 - (a) 外国人留学生に対し学校説明会を行った。
 - (b) 外国人留学生に対しオンラインにて学校説明会を行った。
 - (c) 日本語学校内で外国人留学生に対し本校の学校説明を行った。
 - (d) 外国人留学生に対し本校で行っている授業を体験する体験入学を行った。
 - (e) 外国人留学生に対し入学までの流れ等の詳細を分かり易くホームページに掲載した。
- ⑬日本語学校等との教育提携の調査と実施
 - (a) 千葉県下の日本語学校を訪問して、本校のPR、学生募集、情報収集を行った。
 - (b) 千葉県下の日本語学校を訪問して、学校説明会実施を依頼した。
- ⑭その他の募集に関する活動の実施
 - (a) 厚生労働省から指定を受けている専門実践教育訓練給付金制度について、支給対象となる既卒者に説明を行う等、本校のPR及び学生募集を行った。
 - (b) 組合員事業主のご子女、孫が入学する場合及び同一家族や卒業生のご子女、兄弟姉妹が入学する場合に利用可能な入学特典の適応について説明した。
 - (c) 稲毛自動車教習所で実施される子供(幼児、小学生)向けのクルマのイベント「稲教まつり」に参加して来場者へ本校のPRを行った。

(4) 就職活動に対する支援

①就職関係の情報収集

整備業界、採用企業ニーズの把握に努めた。

②求人依頼

組合員事業所への求人票の配付・回収を行った。

③企業説明会の実施

日 時 令和7年 1月20日～28日 参加企業数49社

④学生への就職指導

(a) 就職導入として、社会人心得、採用試験受験等を指導した。

(b) 学生への求人票の閲覧及び相談を行った。

(c) 就職試験に対する指導を行った。

(5) 職業実践専門課程の実施

教育課程編成委員会及び学校関係者評価委員会を実施した。

日 時 第1回 令和6年 9月25日(水) 10:00～15:00

第2回 令和6年12月20日(金) 10:00～15:00

(6) 学生生活充実の為の環境整備及び教育設備機器の充実

①美的環境の整備

(a) B棟4階トイレを改修した。

(b) A棟1階正面入口の花壇に花を植える等美化を図った。

②災害に対応した環境の整備

(a) 非常用食料品、発電機の保守、管理を行った。

(b) 被災回避支援カードを作成し、学生に配付した。

(c) 消火器、避難器具の整備を行った。

③教材・設備機器の充実及び整備

(a) 大型車両用特殊工具の充実を図った。

(b) 新カリキュラムに対応するため、新型二輪車7台を教材車とし、教材の充実を図った。

(7) 教育関係書籍、試験申請書類等の販売

整備士養成用教科書、問題集等の販売を行った。

(8) 指導技術及び資質の向上

職員の指導技術及び資質の向上を図る為、下記の講習会、研修会等に参加した。

①総会【一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会】

②全大会【千葉県専門学校協会】

③総会【全国自動車大学校・整備専門学校協会】

④日産技術講習会【日産自動車株式会社】

⑤メンタルヘルス研修【一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会】

⑥経営研究会【全国自動車大学校・整備専門学校協会】

⑦JAMCA 質保証研修会【全国自動車大学校・整備専門学校協会】

(9) 卒業生への情報提供

①整備相談及び各種の問い合わせに対する情報提供

整備相談、資格試験についての問い合わせに対応した。

②一級口述試験合格対策講習

令和5年度一級自動車研究科卒業生に口述試験対策を実施した。

(10) 組合員向け各種講習の実施

国土交通省より機関認定を受け、電子制御装置整備の整備主任者等資格取得講習を実施した。

(11) 次世代自動車に対する整備技術の調査、研究

日本電気自動車レース協会主催の全日本電気自動車グランプリシリーズに参加し、EV車両の特性について研究した。

成 績 第1戦 EV-Rクラス3位

第3戦 EV-Rクラス4位

第4戦 EV-Rクラス4位

第5戦 EV-Rクラス4位

(12) 本校独自の奨学金制度について調査、研究

経済的な理由で入学を断念する高校生や学費金の支弁が困難な在校生に対し、大学校後援会より学生積立金に対する援助を行うこととした。

(13) 整備士技能検定制度の改定に伴うカリキュラムの策定

改定された自動車整備士技能検定規則の情報収集を行い、一級自動車研究科及び二級自動車整備科の1、2年次新カリキュラムを策定し、令和7年度生より実施するため、学則変更を行った。

(14) 第25回千葉県自動車整備技能競技大会の実施

県内の整備事業に従事している自動車整備士の技能の向上を図るとともに、自動車の技術革新に対応した安全の確保並びに環境保全及び定期点検整備の普及促進、交通事故の防止、公害防止に寄与することを目的として第25回千葉県自動車整備技能競技大会を実施した。

①開催日 令和6年 8月17日(土)

②場 所 千葉県自動車会館

③参加チーム 5チーム(1チーム2名・10名)

④総合成績

順 位	ブロック名	事 業 場 名
優 勝	習志野	株式会社湯浅セルフ上山町SS
準優勝	北 総	有限会社有井自動車商会、有限会社越川自動車
第3位	千 葉	有限会社カーズ

(15) 大学校後援会の発足

(a) 学生への経済的支援を主目的とする後援会を4月より発足した。

入会企業数 62社(令和7年3月末現在)

(b) 在校生及び次年度入学予定者(合計3名)に対し、学費等の一部助成を行った。

(16) 自動車整備技術交流会の実施

①開催日 令和7年 2月 1日(土)

②内 容 電気基礎講習(初級編)として、整備士資格未取得者を中心に講習を行った。

(17) 人材確保対策の検討

自動車整備人材確保・育成地方連絡会において計画し出展した「仕事体験テーマパーク」

の

アクティビティに関する助言、協力を行った。

2. 教育関連事業への協力及び行政協力

一般社団法人千葉県自動車整備振興会の行う事業並びに関係団体・関係行政が行う事業に協力した。

(1) 整備士養成対策

①自動車整備士養成講習

自動車車体整備士(木更津分教場)

②自動車整備士技能登録試験

③労働安全衛生法に基づく講習

ガス溶接技能講習

(2) 行政協力対策

①自動車整備人材確保・育成地方連絡会

(a) 自動車整備人材確保・育成地方連絡会の人材確保について意見交換を行った。

(b) 「支局長による高校訪問」に協力し、県内5校へ支局長に同行して整備士確保の説明を行った。

3. その他

(1) 工業系高校人材育成コンソーシアム千葉の活動に協力した。

(2) 千葉運輸支局整備部門による車両の不正改造に関する講習を実施した。

(3) 千葉県現代産業科学館展示運営協力会に協力した。

(4) 四街道市市民防災DAYSに協力した。

(5) 千葉県トラック協会主催の車輪脱落事故防止セミナーに協力した。

財 産 目 録

令和 7 年 3 月 3 1 日 現 在

科 目	摘 要	金 額
流 動 資 産		円
現 金	期末現金、手許有高	5,140,960
預 金	当座預金、㈱千葉銀行 本店	88,327,720
	〃 習志野台支店	36,136,522
	〃 袖ヶ浦支店	31,237,672
	〃 野田支店	37,987,148
	㈱千葉興業銀行本店	22,692,233
	㈱商工組合中央金庫千葉支店	5,993,478
	小 計	(222,374,773)
	郵便振替、㈱ゆうちょ銀行	5,063,284
	小 計	(5,063,284)
	普通預金、㈱千葉銀行本店	3,759,771
	㈱千葉興業銀行本店	4,815,839
	㈱商工組合中央金庫千葉支店	4,865,429
	小 計	(13,441,039)
	定期預金、㈱千葉銀行本店	10,000,000
	㈱商工組合中央金庫千葉支店	20,000,000
	小 計	(30,000,000)
印 紙 勘 定	自動車重量税印紙期末有高	100,481,000
	自動車検査登録印紙期末有高	28,801,900
	収入印紙、切手類期末有高	759,710
証 紙 勘 定	自動車審査証紙期末有高	32,067,300
	千葉県自動車税証紙期末有高	11,990,100
受 取 手 形	商品売上代	8枚
売 掛 金	商品売掛先	
未 収 入 金	(一社)全国軽自動車協会連合会千葉事務所 重量税印紙代 以下	31件
	郵便事業㈱ 印紙売捌手数料	7,911,310
	組合員 受託車保険料先月払分	17,473,774
	OSS申請代行手数料他	2口
仮 払 金	大学校、各支所小払資金、つり銭	10,687,076
	千葉県自動車税事務所 証紙誤表示額他	3口
商 品	期末棚卸高 機械工具	12,527,853
	用 品	19,827,301
	オ イ ル	9,910,337
	様 式 類	8,555,586
流 動 資 産 計		714,195,653

固定資産

建

物

円

円

本部 1号館、千葉市美浜区新港 156、157
鉄筋コンクリート造陸屋根五階建事務所兼会議室

1,683.54㎡ 17,329,499

鉄筋造平家建検査場、調整室

401.82㎡ 1,849,464

鉄筋造平家建倉庫、油脂庫

259.00㎡ 310,238

軽量鉄骨プレハブ平家建倉庫

39.20㎡ 687,905

小計

(20,177,106)

本部 2号館、千葉市美浜区新港 156

鉄筋コンクリート造陸屋根五階建事務所兼教室

4,479.55㎡ 61,247,334

工場兼倉庫、実習棟

鉄骨造平家建実習棟、ピロティ棟

768.37㎡ 33,211,260

小計

(94,458,594)

教育センター 千葉市美浜区新港 171-1

軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建倉庫

53.57㎡ 3,728,703

小計

(3,728,703)

習志野支所、船橋市習志野台 8-19-8

鉄骨造三階建事務所

1,232.54㎡ 48,895,626

鉄骨造平家建検査場

527.85㎡ 2,887,383

商品倉庫棟

127.00㎡ 187,059

八千代市緑が丘西8-10-25

軽自動車習志野予備検査場

136.75㎡ 30,821,342

小計

(82,791,410)

袖ヶ浦支所、袖ヶ浦市長浦 580-81

鉄骨造平家建事務所

415.00㎡ 6,786,484

鉄骨造平家建検査場、整備場

403.79㎡ 6,795,295

鉄骨造二階建教育棟

539.50㎡ 6,454,966

軽自動車袖ヶ浦出張所

55.00㎡ 3,595,455

小計

(23,632,200)

224,788,013

建物付属設備

本部 1号館

電気設備

3,293,838

給排水衛生設備

757,911

空調及び換気設備

16,137,288

内装設備、補修工事他

4,174,950

倉庫設備

2

小計

(24,363,989)

本部 2号館

電気設備

12

給排水衛生設備

8,054,125

空調及び換気設備

45,315,862

昇降機、緩降機設備

2

内外装付属設備

11

内外装補修工事

21,923,214

小計

(75,293,226)

教育センター

電気設備

250,151

小計

(250,151)

習志野支所

電気設備

820,750

給排水衛生設備

107,634

空調及び換気設備

88,047

車輛簡易整備場、旗、ポール他

3

軽自動車予備検査場

電気設備

5,204,159

給排水衛生設備

5,351,766

空調及び換気設備

1,498,606

検査機器対応工事

3,497,393

小計

(16,568,358)

袖ヶ浦支所

電気設備

151,204

構 築 物	給排水衛生設備		4,064,531	
	空調及び換気設備		189,009	
	小 計		(4,404,744)	120,880,468
	本部 1号館			
	外溝、門扉、看板、アンテナ等		189,052	
	本部 2号館			
	外溝、舗装、ブロック塀、校名看板		2,936,254	
	教育センター			
	外構、舗装、駐車場排水、外灯、駐輪場、門扉等		27,575,289	
	習志野支所			
機 械 装 置	外構工事		1	
	軽自動車予備検査場			
	外構、舗装、門扉、フェンス等		9,081,314	
	袖ヶ浦支所			
	造園、フェンス、門、構内舗装等		4	39,781,914
	予備検査用機器	1基	1	
	専門学校実習用機器	76基	5,039,648	
	袖ヶ浦支所、教育用機器	8基	8	5,039,657
	乗用車18両、小型貨物車10両、 フォークリフト 3両			
	計	31両		6,698,948
車 両 運 搬 具				
工 具 器 具 備 品	本部事務室備品	30種	4,208,654	
	千葉支所、営業室、検査場備品	22種	4,490,293	
	専門学校整備士教育施設備品	97種	11,381,701	
	習志野支所、営業室、検査場備品	30種	26,904,705	
	袖ヶ浦支所、営業室、検査場、教育棟備品	26種	36,944,383	
	野田支所、検査場備品	9種	10	83,929,746
	千葉市美浜区新港 155番			
	1筆 1,694.69㎡		105,746,085	
	千葉市美浜区新港 156、157番			
	1筆 4,894.00㎡		184,649,220	
土 地	千葉市美浜区新港 171番 1			
	1筆 2,870.51㎡		209,786,723	
	千葉市美浜区新港 223番 18			
	1筆 255.87㎡		5,402,906	
	船橋市習志野台 8丁目 1980番 以下			
	9筆 1,969.81㎡		61,993,000	
	八千代市緑が丘西8丁目10番25			
	1筆 518.07㎡		56,691,940	
固 定 資 産 計				1,401,692,028
資 産 合 計				2,115,887,681

科 目	摘 要	金 額
流 動 負 債		円
買 掛 金	商品仕入代 45口	81,727,661
未 払 金	未払費用 25口 7,893,934	19,159,334
	未払消費税 11,265,400	14,321,466
未 払 費 用	職員の給料手当（締後3/16～3/31分）	
預 り 金	職員、顧問、講師等預り金（源泉所得税等） 1,662,446	
	大学校学生研修旅行等行事積立金 20,551,348	
	共済保険料、脱退企業出資預り金他 4,527,640	26,741,434
前 受 金	令和7年度分千葉県自動車大学校入学者学費等	53,072,500
納 税 引 当 金		962,000
流 動 負 債 計		195,984,395
固 定 負 債		円
預 り 保 証 金	ETCセットアップ店登録保証金 4,960,000	
	自動車重量税印紙等の取引に係る保証金 43件 82,500,000	87,460,000
固 定 負 債 計		87,460,000

科 目	摘 要	金 額
引 当 金		円
貸 倒 引 当 金	当期末残高	3,176,000
退 職 給 与 引 当 金	〃	83,707,362
事 業 引 当 金	〃	217,000,000
専 門 学 校 金	〃	165,945,469
施 設 引 当 金	〃	
会 館 修 繕 等 金	〃	170,791,305
引 当 金		
引 当 金 計		640,620,136
負 債 合 計		924,064,531
正 味 資 産		1,191,823,150

貸 借 対 照 表

令和7年3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
流 動 資 産	714,195,653	流 動 負 債	195,984,395
現 金	5,140,960	買 掛 金	81,727,661
預 金	270,879,096	未 払 金	19,159,334
印 紙 勘 定	130,042,610	未 払 費 用	14,321,466
証 紙 勘 定	44,057,400	預 り 金	26,741,434
受 取 手 形	3,639,735	前 受 金	53,072,500
売 掛 金	105,676,833	納 税 引 当 金	962,000
未 収 入 金	92,761,912		
仮 払 金	11,176,030	固 定 負 債	87,460,000
商 品	50,821,077	預 り 保 証 金	87,460,000
		引 当 金	640,620,136
		貸 倒 引 当 金	3,176,000
固 定 資 産	1,401,692,028	退 職 給 与 引 当 金	83,707,362
建 物	224,788,013	事 業 引 当 金	217,000,000
建 物 付 属 設 備	120,880,468	専 門 学 校 施 設 引 当 金	165,945,469
構 築 物	39,781,914	会 館 修 繕 等 引 当 金	170,791,305
機 械 装 置	5,039,657		
車 両 運 搬 具	6,698,948	負 債 合 計	924,064,531
工 具 器 具 備 品	83,929,746		
土 地	790,454,147	資 本	712,375,000
退職給与引当特定預金	85,325,675	出 資 金	712,375,000
保 証 金	15,056,000		
関 係 先 出 資 金	29,160,000	法 定 準 備 金	263,285,000
長 期 前 払 費 用	577,460	資 本 準 備 金	22,785,000
		利 益 準 備 金	240,500,000
		剰 余 金	216,163,150
		特 別 積 立 金	214,500,000
		繰 越 利 益	635,851
		当 期 利 益	1,027,299
		純 資 産 合 計	1,191,823,150
資 産 合 計	2,115,887,681	負 債 ・ 純 資 産 合 計	2,115,887,681

損 益 計 算 書

令和 6年4月 1日から

令和 7年3月31日まで

科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
事業収入			
商品共同購入手数料	193,293,247	福利厚生費	1,777,475
売上高	1,305,882,496	退職金	17,095,000
期首棚卸高	44,233,572	旅費交通費	17,555,126
仕入高	1,119,176,754	消耗品費	6,348,512
売上原価	1,112,589,249	印刷費	8,109,129
期末棚卸高	50,821,077	通信費	7,883,618
施設利用料収入	176,980,860	渉外費	494,857
保険手数料収入	15,123,995	慶弔費	901,150
事務代行手数料収入	48,122,595	顧問料	3,157,000
印紙手数料収入	78,583,792	租税公課	57,396,288
証紙手数料収入	3,598,567	図書費	789,338
ローン手数料収入	478,089	職員研修費	409,870
共済手数料収入	30,303,563	雑費	4,645,533
業務受託収入	92,987,795	水道光熱費	14,795,598
学校事業収入	124,082,600	修繕費	7,880,757
会館等利用料収入	59,960,673	会館保守管理費	19,960,903
		損害保険料	2,967,592
事業総利益計	823,515,776	賃借料	53,053,898
事業費及び		減価償却費	68,673,591
一般管理費		事業経費計	787,258,695
販売促進費	2,256,429	事業利益	36,257,081
広報費	18,399,848	事業外収入	
調査費	212,249	受取利息	1,309,504
研究費	816,732	雑収入	3,253,629
車両費	11,038,222	固定資産売却益	70,468
会議費	4,218,228	引当金戻入	1,100,000
関係団体負担金	1,804,273	計	5,733,601
指導費	3,489,432	事業外費用	
教材費	3,367,067	設備資金支払利息	1,379
業務受託費	5,280,000	固定資産除却損	4
教育諸掛	1,634,391	引当金繰入	40,000,000
商品棚卸損	93,521	計	40,001,383
役員報酬	7,160,000	税引前当期利益	1,989,299
給与手当	299,921,560	法人税等引当額	962,000
賞与	71,375,700	当期利益	1,027,299
法定福利費	62,295,808		

剰 余 金 処 分 案

令和 6 年 4 月 1 日 から
令和 7 年 3 月 31 日まで

	円
当期末処分利益剰余金	
当 期 利 益 剰 余 金	1,027,299
繰 越 利 益 剰 余 金	635,851
合 計	1,663,150
剰 余 金 処 分 額	
利 益 準 備 金	500,000
特 別 積 立 金	500,000
合 計	1,000,000
次期繰越利益剰余金	663,150

監 査 報 告 書

中小企業団体の組織に関する法律第47条第2項において準用する中小企業等協同組合法第40条第5項により、特定理事から受領した令和6年度（第51期）財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び事業報告書を監査した。

1 監査方法の概要

決算関係書類及び事業報告書の監査のため、会計に関する帳簿、書類を閲覧し、計算書類について検討を加え、必要な実査、立会、照合及び報告の聴取、理事会議事録の閲覧、重要な事業の経過報告の聴取その他通常とすべき必要な方法を用いて調査した。

2 監査結果の意見

- （1）財産目録、貸借対照表及び損益計算書は、組合財産及び損益状況のすべての重要な点において適正に表示している。
- （2）剰余金処分案は、法令及び定款に適合している。
- （3）事業報告書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示している。

令和7年 4月28日

千葉県自動車整備商工組合

監 事 松 丸 浩 

監 事 折 笠 隆 之 

監 事 今 関 光 俊 

上記の通り承認致します。

令和7年 5月 9日

千葉県自動車整備商工組合

代表理事（理事長）	秋 葉 邦 男
理 事（副理事長）	大 木 康 正
同（副理事長）	杉 田 弘 幸
同（専務理事）	大 沼 栄次郎
同（常務理事）	泉 水 宏 次
同	木 俣 博 光
同	吉 川 邦 幸
同	飯 田 茂 夫
同	野 崎 俊 二
同	土 肥 正 利
同	内 山 正 徳
同	櫻 田 基 介
同	石 井 方 典
同	岡 澤 富 広
同	篠 塚 達 也
同	榊 原 祥 雄
同	菅 谷 道 晴
同	加 瀬 義 一
同	勝 又 修 一
同	渡 辺 一 宏

理事

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

吉 田 則 彦

村 越 恒 則

吉 田 剛

若 松 由 博

渡 邊 和 人

小野村 直 紀

飯 田 勉

松 丸 幸 一

相 野 喜 昭

露 崎 正 幸

高 橋 康 夫

鈴 木 修 久

三 平 典 生

高 山 寛

保 坂 知 宏

越 川 寛 一

齋 藤 和 久

鈴 木 秀 明

清 水 貞 弘

加 瀬 一 幸

廣 瀬 浩 明